●毎月第五週は、 松浦武四郎のよもやま話に ついてご紹介します

90

〈けつ状耳飾り〉(耳の穴か

· 松浦武四郎記念館

ものだといいます。 が、写真はその十七年に撮った くらい、わりと旧弊な人でした チョンマゲを結っていたという 終活ブームの昨今、 武四郎さんは明治十七年まで

……なんか、ヘン。

せん。きちんと羽織も着て、 うですが、武四郎さんも当時 の準備ということで一念発起し 髪記念……というより、そっち 六十七歳、もう立派なお爺さん と呼ばれる年頃だったので、断 て撮影にのぞんだのかもしれま の撮影が人気(?)だそ へ生前遺 0 耳み

見えませんが、 のあたり……写真では左耳しか 写真を見てみて下さい。特に耳 世一代の晴れ姿! じゃーん! 郎さんにしてみれば、まさに かまわない人だったという武四 上げます)。ふだんは身なりに 首飾り〉については改めて取り さて、もう一度、よーくこの

ますが、少し前までは、写真は は毎日のように写真を撮ってい ん。考えてみれば、今の私たち

特別な時にしか撮らないもので

アイヌの装身具には、こうした 位置と大きさがヘンです)?! ナッツみたいなものが……くっ ついている(耳の穴にしては これは何なのでしょうか? 節りはないそうです。古代 耳の形が二重に見えません 耳の輪郭の内側にドー

> かったなぁ。 ら魔物が忍び込まないようにと が生きていたら、 しょうか? ああ、武四郎さん ます。古代中国から伝わる壁で が、装着方法がどうも少し違い いう魔除け)に形は似ています 聞いてみた

四郎さんにまつわる〈よもやま リアルタイムで目撃したら、 話〉をお届けしようと思います。 巡ってくる五週目はこうした武 いぶんとヘンな格好のお爺さん なんだかナイス! に見えたことでしょう。でも それにしてもこの時の撮影を 数回ほど d"

たった一枚しか残っていませ 、四郎さんの肖像写真は、 でぶら下げています(この〈大 んとお気に入りのネックレスま

2018年(平成30年)5月30日(水)

発行・松阪市



▲「松浦武四郎肖像 部分」 松浦武四郎記念館蔵

松浦武四郎 (1818 ~ 1888)

三重県松阪市出身。幕末から明治にかけ ての探検家、著述家、蒐集家。蝦夷地(今 の北海道)を6度にわたり探査し、ア イヌの人々と交流を深め、蝦夷地の詳細 な記録や地図を作成した。維新後、蝦夷 地に代わる新たな名称として〈北海道〉 のもととなる〈北加伊道〉を含む6案 を政府に提案したことから〈北海道の名 付け親〉と称される。



文・河治和香 装画・りんたろう 編集・細山田正人 デザイン・DOMDOM

